

## ■ カルマの付け替え

他人のカルマ消しに繋がる状況に介入する事は、その者を本当の幸せへと導く『神』のプログラムを邪魔する行為になるので、他人の悪いカルマを自分が背負う事になります。

5 『神』の常識は、人間界の常識とは全く違うのです。

### 『神』仕組みのお邪魔になる事

- 特に男性の持つ人間社会の“正義感”は、新たな騒動と余計なカルマを発生させます。
- 10 ● 特に女性の持つ間違った“母性愛”は、『神』の御計画を邪魔する行為に繋がります。
- 今まで学んできた“知識の自信”は、自分の視野を狭くしてしまいます。
- 今までの“実績のプライド”は、自ら大事なことを遠ざけてしまいます。
- “我”を押し通す事は、『神』の御心が届かなくなり、自壊に繋がります。

15

### 【人間社会の正義感】

- ・ 相手を救えないばかりか、自分が苦しむことになります。
- 20 ・ 相手からの依頼が無い状態で救命活動を行ってしまうと、大きな金銭的禊を受けること  
になります。  
また、依頼があって救命活動を行ったとしても、相手に“そういう目に遭わなければならない理由”つまり、『真理』を説明しなければ、相手の悪いカルマを貰うことになり、  
金銭的に苦しむことになります。

25

★ 命を落とさなければ清算できないカルマということなので、それだけ大きいカルマを貰うことになります。

### 30 【間違った母性愛】

- ・ 子供を可愛さの余り溺愛して甘やかすことや、力や能力の弱い人を無条件にかばうという  
ことは、その者に必要な学習する機会を奪うので“愛”ではなく“虐待”になります。  
この事は神霊界にも深く関わっています。

35

### ※ 関連《66P》【女性の御神霊が犯した罪】

- ・ 子供は、自分が痛い思いをすることで他人への痛みも理解して、また、嫌な思いをすることで  
他人の心の痛みも理解できるようになるのですから、痛い思いをしないように過剰  
40 に保護するという事は、“人”として必要な勉強の機会を奪う事になります。  
痛い思いをしないで育った子供は、他人に危害を与えるようになります。

- ・ 親は子供を一人前に教育する役目があります。 《教育 指導 躰》  
可愛いから、又は、忙しいからといって、子供の身の回りのことを両親や祖父母がして  
しまうと、日常生活における基本的な力が身につきません。

5 その為に、学校に行った時や、社会に出た時に、脱ぎ着が遅い、片付けが出来ない等、  
他の人と比べて自分はどこか劣っているという劣等感を感じ、いじめられる訳ではないの  
に、学校や職場に行きたくなくなり、不登校や引きこもり  
と呼ばれる状態になることもあります。

10 また、親が必要以上に子供に干渉すると、子供に自由が  
無くなるため、子供は親を嫌うようになります。

過干渉によって適切な判断能力が十分に身につかないと、  
場合によっては、子供は親や他人に危害を加えるよう  
になります。



15 ・ 同性の兄弟姉妹がいない場合は、家庭内で競争を経験する機会がほとんどないため、ど  
うしても軋轢あつれきに弱くなる傾向があります。

- ・ カルマ消しを邪魔する行為や、子供の発育を邪魔する行為は、間違った愛です。

20

### 子供を一人前に教育出来なかったと感じた時には

成長した子供に対して注意をしても、なかなか聞き入れません。

25 その時は、まだ小さかった頃の子供が目の前にいると思って、その子供に語りかけまし  
よう。

空想するしゅようなイメージで、その子が小さい時から成長す  
るまで、躰けるようにしましょう。

30 例えば、お風呂に入って体を洗うのはこうするんだよ、お  
片付けはこうするんだよ、今日はこんな事をして遊ぼう等、  
子供に対してやり直したいことをイメージして語りかけまし  
よう。

そうすると、それが子供の魂に響いて、だんだん子供が変わっていきます。

